

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

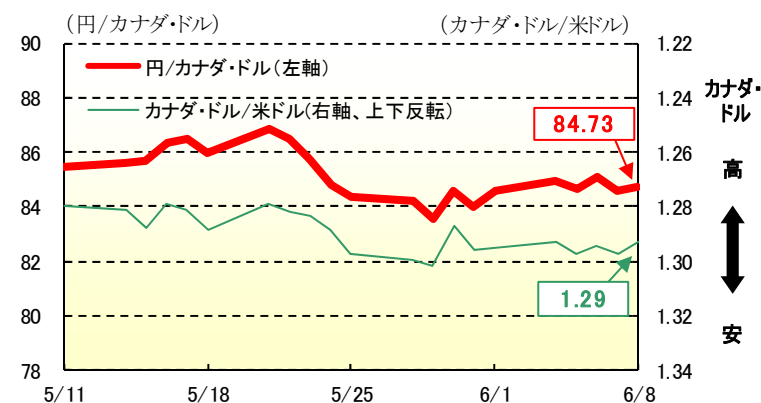
【2018年6月2日～2018年6月8日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は上昇しました。カナダ5年国債利回りも上昇しました。

先週は、カナダの4月の貿易赤字が市場予想より小幅となったことや、5月の雇用統計で賃金上昇率が加速したことが好感され、カナダ・ドル円やカナダの金利は上昇しました。5月の雇用者数変化はマイナス数値となったものの、賃金上昇率が予想を上回ったことから、7月の利上げの確率が高まりました。また、原油価格の下落が一服したことも、カナダ・ドル円およびカナダの金利の上昇圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年5月11日～2018年6月8日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

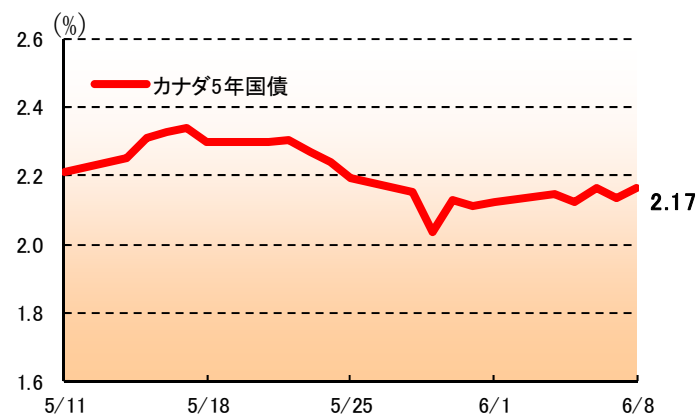
### 【2】今週の見通し

今週、カナダでは4月の製造業売上高や複数の住宅関連指標が発表される予定です。住宅市場の減速により、住宅関連指標は通常よりも注目を集める見込みです。

米国では、FOMC(連邦公開市場委員会)で利上げが行われると予想されています。市場参加者は将来の金利見通しに注目しています。

通商面では、9日(現地)に「NAFTA(北米自由貿易協定)合意近づく」との報道がありました。しかし、G7首脳会議では、米国と他6カ国の亀裂は埋まらないまま終了しました。引き続き米国の通商政策の姿勢に注目が集まるとみえています。

【カナダ 金利推移】 (2018年5月11日～2018年6月8日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>